

一般廃棄物・産業廃棄物処理施設維持管理記録簿 [管理型] (2022年11月度)

対象期間: 2022年 11月 1日 ~ 2022年 11月 30日

埋立廃棄物の種類及び数量[一般:規第4条の5の2 4号イ、産廃:規第12条の7の2 8号イ]

種 類		数量(単位)	
一 般 廃 棄 物	焼却灰	2,631.990	(t /月)
	ごみ	805.990	(t /月)
	特定一般廃棄物(焼却灰)	43.570	(t /月)
	特定一般廃棄物(ばいじん)	2,203.230	(t /月)
	一般廃棄物 小計	5,684.780	(t /月)
産 業 廃 棄 物	燃え殻	393.550	(t /月)
	汚泥	407.650	(t /月)
	廃プラスチック	786.630	(t /月)
	廃プラスチック(非飛散性)		(t /月)
	紙くず		(t /月)
	木くず	1.950	(t /月)
	繊維くず		(t /月)
	動植物性残さ		(t /月)
	金属くず	6.880	(t /月)
	金属くず(非飛散性)	0.060	(t /月)
	ガラス陶磁器くず	1,672.550	(t /月)
	ガラス陶磁器くず(非飛散性)	0.500	(t /月)
	ガラス陶磁器くず(水銀使用製品)		(t /月)
	鉱さい	64.010	(t /月)
	がれき類	810.900	(t /月)
	がれき類(非飛散性)		(t /月)
	動物の死体		(t /月)
	ばいじん	79.940	(t /月)
	処分するために処理したもの(13号廃棄物)		(t /月)
	廃石綿等(特別管理廃棄物)	0.130	(t /月)
特定産業廃棄物(燃え殻)		(t /月)	
特定産業廃棄物(ばいじん)		(t /月)	
産業廃棄物 小計	4,224.750	(t /月)	
合 計	9,909.530	(t /月)	

水質検査の実施状況と措置(月1回測定)[一般:規第4条の5の2 4号ニ及びホ、産廃:規第12条の7の2 8号ニ及びホ]

採取場所	地下水等		放流水
	下部調整池脇自噴井戸	シート下ドレーン水	別紙平面図の通り
採取日	2022年11月2日	2022年11月2日	2022年11月2日
分析結果が得られた日	2022年11月11日	2022年11月11日	2022年11月11日
電気伝導率	99.4 ms/m	105.3 ms/m	
塩化物イオン濃度	6.1 ppm	69.0 ppm	
水素イオン濃度			7.28 pH
生物学的酸素要求量			0.5未満 ppm
化学的酸素要求量			6.9 ppm
浮遊物質量			1未満 ppm
窒素含有量			6 ppm
異常の有無	有 ・ (無)	有 ・ (無)	
必要な措置を講じた日付けとその内容(異常が認められた場合記入すること)			

残余の埋立容量(年1回測定)[一般:規第4条の5の2 4号リ、産廃:規第12条の7の2 8号リ]

計測日	残余容量(m ³)
2022年 11月 25日	2,055,473.8

施設の点検[一般:規第4条の5の2 4号ロ、ハ、ヘ及びト、産廃:規第12条の7の2 8号ロ、ハ、ヘ及びト]

点検日	擁壁等	遮水工	調整池	浸出水処理設備
	2022年11月28日	2022年11月28日	2022年11月28日	2022年11月28日
異常の有無	有 ・ (無)	有 ・ (無)	有 ・ (無)	有 ・ (無)
必要な措置が講じた年月日とその内容(異常が認められた場合のみ記入すること)	20年月日	20年月日	20年月日	20年月日

※ 保有水等の導水管、浸出液処理設備の配管の防凍の為の対策について、当施設は標高1000mに位置している。その為、冬季の気温低下を考慮し埋設配管にて設置している。 [一般:規第4条の5の2 4号チ、産廃:規第12条の7の2 8号チ]

水質検査の実施状況と措置(年1回測定)[一般:規第4条の5の2 4号ニ及びホ、産廃:規第12条の7の2 8号ニ及びホ]

採取日	地下水等		放流水
	20年月日	20年月日	20年月日
採取場所	下部調整池脇自噴井戸	シート下ドレーン水	別紙平面図の通り
分析結果が得られた日	20年月日	20年月日	20年月日
分析結果	計量証明の添付	計量証明の添付	計量証明の添付
異常の有無	有 ・ 無	有 ・ 無	
必要な処置を講じた年月日とその内容(異常が認められた場合記入すること)			